



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東大

上場会社名 長瀬産業株式会社

コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長瀬 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括

(氏名) 古川 方理

TEL 03-3665-3103

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	331,311	17.8	10,533	100.2	11,369	96.1	6,849	121.3
22年3月期第2四半期	281,368	△26.8	5,262	△40.9	5,796	△41.1	3,095	△45.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	53.29	—
22年3月期第2四半期	24.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	370,197	203,353	52.9	1,524.00
22年3月期	368,088	202,753	53.1	1,519.61

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 195,905百万円 22年3月期 195,344百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
23年3月期	—	9.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	655,000	8.5	18,000	37.1	19,600	33.2	12,000	59.2	93.35

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 138,408,285株 22年3月期 138,408,285株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 9,861,844株 22年3月期 9,859,357株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 128,547,717株 22年3月期2Q 128,560,183株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. (参考) 海外売上高	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 業績全般の概況

当第2四半期までのわが国経済は、海外経済の減速懸念や円高進行などによる先行き不透明感が強まる中、政府補助金への駆け込み需要や、主に中国を中心とするアジアの旺盛な需要により堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当第2四半期の業績は、国内販売は1,963億2千万円（前年同期比13.6%増）、海外販売が1,349億8千万円（同24.4%増）となり、売上高は3,313億1千万円（同17.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は105億3千万円（同100.2%増）、経常利益は113億6千万円（同96.1%増）、四半期純利益は68億4千万円（同121.3%増）となりました。

#### セグメント別概況

##### 【 化成品 】 売上高 : 1,265億9千万円 前年同期比14.0%増

化成品につきましては、化成品業界全体の需要回復などにより、塗料原料、ウレタン原料、樹脂原料・添加剤などを取扱う機能化学品事業、染料・顔料、デジタル印刷材料、機能性色素など「色」に関連した商品を取扱う色材事業、また、界面活性剤・工業用油剤、有機合成原料、フッ素関連・半導体業界向け封止剤などを幅広く取扱うスペシャリティケミカル事業の全ての事業で売上が増加しました。海外につきましては、中国の華南地域における印刷関連事業の販売が減少したものの、全体として売上が増加しました。

##### 【 合成樹脂 】 売上高 : 1,100億6千万円 前年同期比27.5%増

合成樹脂につきましては、海外での販売が、北東アジア、東南アジアおよび北米地域の全てにおいて大幅に増加しました。また、国内においては、機能性フィルム・シート、シート成形品関連用途は減少しましたが、OA・家電関連用途、自動車関連用途は増加し、全体として売上は大幅に増加しました。

##### 【 電子 】 売上高 : 685億4千万円 前年同期比21.0%増

電子につきましては、液晶および半導体関連の一部に在庫調整が見られ始めたものの、液晶用フィルム、タッチパネル用部材などを扱うディスプレイ関連の売上は新規商材が伸長したこともあり、大幅に増加しました。また、ハードディスク業界、半導体業界向けの精密研磨剤関連および液晶、半導体製造用薬液関連も好調な需要を受け増加しました。変性エポキシ樹脂関連も自動車関連の復調、スマートフォンなどの携帯電話向けの好調な需要を受け大幅に増加しました。海外につきましても全地域で大幅に増加し、全体として売上が大幅に増加しました。

##### 【 ライフサイエンス 】 売上高 : 256億8千万円 前年同期比4.2%減

ライフサイエンスにつきましては、ファインケミカル事業における酵素事業の売上は伸長したものの、生活資材関連は減少となりました。また、医薬事業では受託案件の新規実績化があったものの売上は微減となりました。化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア事業は新製品の売上は好調であったものの、既存商品の落ち込みをカバーできず微減となりました。

##### 【 その他 】 売上高 : 4億1千万円 前年同期比26.2%減

特記すべき事項はありません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債、純資産等の状況

総資産は、株価の下落による投資有価証券時価評価額の減少や運転資金の増加等による現預金の減少等がありましたが、売上の増加に伴う売上債権や棚卸資産の増加等があったことにより、前期比21億円増加の3,701億9千万円となりました。

負債は、繰延税金負債の減少等がありましたが、短期借入金の増加等により、前期比15億円増加の1,668億4千万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等がありましたが、利益剰余金の増加等により前期比6億円増加の2,033億5千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の53.1%から0.2ポイント下降し、52.9%となりました。

### 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上の増加に伴う売上債権、棚卸資産の増加により運転資金が増加したものの、税金等調整前四半期純利益の計上が110億9千万円あったこと等により、24億5千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、58億5千万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等がありましたが、短期借入金の増加により25億4千万円の収入となりました。

以上の結果に、新規連結による現金同等物の増加の2億円等を加え、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ13億6千万円減少し、414億4千万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

新興国経済の内需拡大による回復に支えられ回復から拡大基調にあった世界経済にも拡大ペースの鈍化がみられる一方、個人消費に対する政策効果の剥落懸念等から、日本経済の先行きには不透明感が拡大してきております。第2四半期までは比較的安定していた原油価格も10月に入り上昇がみられ、円高の進行とあわせ、当社を取り巻く事業環境は、日本においてより厳しさを増しています。

こうした状況の中、当社グループは、化成品、合成樹脂、電子の各分野において、引き続き内需を中心とした成長が期待できるアジアでの事業の拡大と機能強化に向けた取り組みを継続するとともに、欧米においても自動車関連事業での機能強化を強めてまいります。また、日本においては事業の選択と集中を図るとともに環境・エネルギー事業等の拡大に向けての取り組みを強化するとともに、ライフサイエンスの分野でも自社技術や製造機能の強化を図り、事業基盤のより一層の強化を図ってまいります。

これらの取り組みを通じて予想業績の達成を目指しますが、第2四半期累計期間で期初の予想を上回ったことなどから、通期の連結業績予想については、売上高6,550億円（前期比8.5%増）、営業利益180億円（同37.1%増）、経常利益196億円（同33.2%増）、当期純利益は120億円（同59.2%増）へと修正いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

②第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

③第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,445	42,807
受取手形及び売掛金	189,128	186,985
商品及び製品	33,851	28,456
仕掛品	439	566
原材料及び貯蔵品	2,013	2,029
その他	9,982	8,880
貸倒引当金	△951	△1,951
流動資産合計	275,908	267,775
固定資産		
有形固定資産	39,160	40,322
無形固定資産	2,731	2,522
投資その他の資産		
投資有価証券	48,710	53,688
その他	4,177	4,164
貸倒引当金	△491	△384
投資その他の資産合計	52,396	57,468
固定資産合計	94,288	100,313
資産合計	370,197	368,088
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	107,041	108,643
短期借入金	14,550	10,412
未払法人税等	3,701	1,992
引当金	3,152	3,065
その他	12,284	12,999
流動負債合計	140,729	137,114
固定負債		
長期借入金	10,463	11,104
繰延税金負債	7,570	9,498
退職給付引当金	7,144	6,815
その他	935	802
固定負債合計	26,113	28,221
負債合計	166,843	165,335

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,040	10,040
利益剰余金	176,790	171,286
自己株式	△5,429	△5,427
株主資本合計	191,101	185,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,400	14,961
繰延ヘッジ損益	△3	8
為替換算調整勘定	△6,593	△5,225
評価・換算差額等合計	4,803	9,744
新株予約権	235	235
少数株主持分	7,213	7,173
純資産合計	203,353	202,753
負債純資産合計	370,197	368,088

## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	281,368	331,311
売上原価	250,793	294,287
売上総利益	30,574	37,023
販売費及び一般管理費	25,312	26,490
営業利益	5,262	10,533
営業外収益		
受取利息	87	88
受取配当金	421	592
持分法による投資利益	109	101
その他	424	546
営業外収益合計	1,043	1,328
営業外費用		
支払利息	330	275
その他	178	216
営業外費用合計	508	491
経常利益	5,796	11,369
特別利益	55	474
特別損失	362	747
税金等調整前四半期純利益	5,489	11,096
法人税、住民税及び事業税	2,343	4,160
法人税等調整額	△55	△275
法人税等合計	2,288	3,885
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,211
少数株主利益	106	361
四半期純利益	3,095	6,849

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,489	11,096
減価償却費	2,513	3,126
売上債権の増減額(△は増加)	△1,034	△3,766
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,575	△5,756
仕入債務の増減額(△は減少)	6,988	△96
その他	1,046	△270
小計	26,579	4,332
利息及び配当金の受取額	555	763
利息の支払額	△337	△279
法人税等の支払額	△1,325	△2,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,471	2,455
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,699	△3,996
その他	△2,709	△1,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,408	△5,858
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,456	3,891
配当金の支払額	△1,028	△1,156
その他	27	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,457	2,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	304	△704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,909	△1,566
現金及び現金同等物の期首残高	36,137	42,807
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	204
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,053	41,445

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## ① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に取扱商品または対象業界別の事業部をおき、各事業部は取り扱う商品についての国内及び海外の包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部を基礎とした商品・対象業界別のセグメントから構成されており、「化成品」「合成樹脂」「電子」「ライフサイエンス」を報告セグメントとしております。

「化成品」はさまざまな化成品を幅広い業界に対して販売を行っており、主な商品は染料、顔料、情報記録紙関連商品、機能性色素、塗料・インキ用材料、ウレタン原料、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコーン原料等であります。

「合成樹脂」は、自動車及び自動車部品、家電・OA機器、住設関連業界等に対して販売を行っており、主な商品は熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型、外観検査機等であります。

「電子」は、ディスプレイ、タッチパネル、液晶、半導体、電子部品、重電業界等に対して販売を行っており、主な商品はLCD・半導体前工程用材料及び装置、LCDパネル用部材、半導体アセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂等であります。

「ライフサイエンス」は、医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品の販売、化粧品・健康食品・美容食品の販売、ならびに放射線測定サービス等であります。

## ② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 4
	化成品	合成樹脂	電子	ライフ サイエンス	計					
売上高										
外部顧客への 売上高	126,594	110,068	68,543	25,686	330,893	418	331,311	—	—	331,311
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,177	1,271	268	201	2,919	2,683	5,603	—	△5,603	—
計	127,772	111,339	68,812	25,888	333,812	3,102	336,915	—	△5,603	331,311
セグメント利益 又は損失(△)	4,785	2,566	3,166	574	11,092	64	11,157	△956	332	10,533

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメント及び「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	化成品 (百万円)	合成樹脂 (百万円)	電子 (百万円)	ライフ サイエンス (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	111,040	86,316	56,631	26,813	567	281,368	—	281,368
(2) セグメント間の内部 売上高	0	117	73	9	2,040	2,241	(2,241)	—
計	111,040	86,433	56,704	26,822	2,608	283,610	(2,241)	281,368
営業利益 又は営業損失(△)	3,192	523	1,024	366	△12	5,095	167	5,262

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、顔料、情報記録紙関連商品、機能性色素、塗料・インキ用材料、ウレタン原料、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコーン原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型、外観検査機

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LCDパネル用部材、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北東 アジア (百万円)	東南 アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	196,402	51,055	23,577	5,536	4,796	281,368	—	281,368
(2) セグメント間の内部 売上高	25,073	2,129	507	573	1,418	29,702	(29,702)	—
計	221,475	53,185	24,085	6,109	6,214	311,070	(29,702)	281,368
営業利益 又は営業損失(△)	3,602	1,112	431	△24	44	5,165	96	5,262

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北東アジア …………… 台湾、中国

(2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ

(3) 北米 …………… 米国

(4) 欧州 …………… ドイツ

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. (参考) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	77,493	39,008	10,358	8,129	134,989
II 連結売上高(百万円)					331,311
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.4	11.8	3.1	2.4	40.7

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	65,364	30,351	6,791	5,985	108,494
II 連結売上高(百万円)					281,368
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.3	10.8	2.4	2.1	38.6

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ